

トピックス topics

第28号  
H24. 8

京	農	業	会	議
都	だ	よ	り	
発行 京都府農業会議 〒602-8054 京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104-2 京都府庁西別館内 TEL:075(441)3660				

- p 1 ◆きょうと女性農業委員の会 会員50名に  
◆府内3委員会で農業委員改選
- p 2 ◆平成24年度 事業実施計画を決定  
◆農政活動を強化しよう
- p 3 ◆府内2ヵ所のモデルファーム 地域との交流も活発に  
◆“農場づくりコーディネーター”が活動開始
- p 4 ◆常任会議だより、出版案内ほか

きょうと女性農業委員の会 会員50名に

市内で研修会を開催

府内の女性農業委員は、8月10日現在、26農業委員会中、22の委員会、50人にまで躍進しています。

女性農業委員でつくる「きょうと女性農業委員の会」は、去る7月26日に京都市内のホテルで「研修交流会」を開催。

推進や農業法人で働く従業員との交流会の開催、女性が活躍できる場づくりとして直売所の視察など様々な計画が提案されました。

また、府農政の今年度の目玉事業である「京力農場プラン」(「京都版「人・農地プラン」」)について研修しました。

会員らがそれぞれの委員会での活動報告を行ったのち、地域の課題に広がる活動を展開する観点から、地域別に今後の活動計画を話し合いました。

活動報告では、京都市の女性農業委員が企画した独身農業者を対象にした「婚活」の取り組みや、南丹市でひとりでも多くの女性農業委員が登用されるよう周囲へ働きかけた取り組みなどが紹介されました。

今年度の活動については、若手農業者の支援のための農業者年金の加入



「今年度、地域から求められる農業委員会活動は？」ブロックごとに議論

府内3委員会で農業委員改選

女性農業委員増える

この間、任期満了に伴う農業委員選挙が井手町、南丹市、与謝野町で行われました。

南丹市では4つの選挙区のうち、1選挙区で立候補者が定数を上回ったため、投票が行われました。定数37名のうち、13名が新任委員となり、女性委員は1名から3名に増加しました。

井手町では、11名の定数のうち、新任委員は3名でしたが、同町農業委員会初の女性委員1名が誕生しました。

与謝野町農業委員会では、定数26名中、新任は11名に。さらに女性農業委員2名が誕生しました。



南丹市農業委員会では、7月13日新任農業委員を対象にした研修会が開催されました。

### 平成24年度 京都府農業会議 事業実施計画を決定!!

●目玉は京力農場プランづくりへの参画、  
農政活動の強化など!!

6月14日に京都市内で開かれた農業委員会  
会長・事務局長会議(「写真」)で、京都府農  
業会議の今年度の事業実施計画が合意され、  
スタートすることとなりました。

今年度は、現行農地法とその運用にあたる  
農業委員会のあり方についての検証作業が始  
められること、担い手の高齢化や減少の進展、  
TPPなど農産物の輸入自由化をめぐる問題  
が新しい段階に入っていることなどを受け、

次の3つをスローガンに掲げ、農業委員会と  
一体となって事業に取り組みます。

▲地域から見える行動  
する農業委員会・農  
業会議を築こう!!

▲「京力農場プラン」  
(京都版「人・農地  
プラン」)の策定を  
通じて、地域農業の  
仕組みづくりを推進  
しよう!!

▲地域の農業者の声を  
集め、国・府・市町  
村の農政に反映させ  
よう!!



## 平成24年度 事業の重点事項

### 組織対策

- ・ 農業委員会活動のPRの強化 (“見える化”の推進)
- ・ 農業委員会への個別支援の強化
- ・ 全国農業新聞の3,000部回復に向けた普及活動の強化

### 農政活動

- ・ 農業委員会の「農業者等との意見交換会」の実施に向けた支援
- ・ 農業委員会の「市町村長への建議・要望活動」の実施に向けた支援
- ・ 京都府への施策提案の実施

### 農地・担い手対策 (=「地域の農地と担い手を守り 活かす運動」の推進)

- ・ 農業委員の「京力農場プラン」づくりへの参画の促進支援
- ・ 農業委員会の「土地利用モデルづくり」への支援
- ・ 府民協働型の土地利用の推進(モデルファーム運動)
- ・ 認定農業者や集落営農の法人化支援
- ・ 関係機関と連携した効果的な担い手対策の推進(府担い手協議会の運営)
- ・ 農業の新たな担い手づくりの支援(「農の雇用事業」の実施)

### 農村活性化対策

- ・ 「京の田舎ぐらし」希望者の誘導と移住の促進
- ・ 農村移住者の受け皿づくり

### 全国農業新聞の普及拡大運動

#### 3,000部の回復に向け、集中取り組みがスタート

農業委員会系統組織の機関紙「全国農業新聞」の普及拡大  
紙「全国農業新聞」の普及拡大  
紙「全国農業新聞」の普及拡大  
紙「全国農業新聞」の普及拡大

紙「全国農業新聞」の普及拡大  
紙「全国農業新聞」の普及拡大  
紙「全国農業新聞」の普及拡大  
紙「全国農業新聞」の普及拡大

紙「全国農業新聞」の普及拡大  
紙「全国農業新聞」の普及拡大  
紙「全国農業新聞」の普及拡大  
紙「全国農業新聞」の普及拡大

### 農業者の意見を集約し、 農政活動を強化しよう

農業委員会には、農業者の利益代表として意見を  
公表したり、行政庁へ建議する機能が法律で付  
与されています。

このことから系統組織の全国運動として、農  
業者との意見交換会などが取り組まれていると  
ころです。

交換会で出された農業者の声は、市町村への施  
策提案や要望などの基礎になるだけでなく、農業  
会議や全国農業会議所を通じて都道府県、国段階  
へ集約することで府県や国の施策に反映されてい  
きます。また、集落座談会などの開催は、身近な  
農業委員会、地域から見える農業委員会「づく  
り」にもつながる取り組みです。

昨年度は府内の14の農業委員会で、意見交換  
会が実施されました。

このうち舞鶴市では、鳥獣害の深刻化を受けて、  
猟友会との懇談会も開いています。

府内2カ所のモデルファーム

農地の保全に加え、地域との交流も活発に

農業会議では、昨年度から地域の農家だけでは保全が難しくなった農地を市民や企業などの活用団体との協定により、有効利用してもらおう「モデルファーム運動」を進めています。

昨年誕生した府内2カ所の「モデルファーム」では、活発な活動が取り組まれています。

精華町山田地区(第1号の協定)では、「けいはんな里山の会」が田植えを行いました。また、7月には、京丹波町北久保地区(第2号の協定)で、関電労組がジャガイモの収穫祭を地元と自治会と行うなど、地元との絆を深めています。



4月に植え付けたジャガイモの収穫。農地の恵みに感動とよろこびをかみしめる関電労組の組合員と家族のみなさん。

全国の農政活動に参画

「農業委員会会長大会」に代表参加

「TPP」などで要請行動

全国の農業委員会の会長が集う全国農業委員会会長大会(主催・全国農業会議所)が5月31日、東京都内で開催され、京都府から代表10名の農業委員会会長が出席しました。

大会では、「持続可能な力強い農業の実現と農村の再生に向けた要請決議」や「TPP交渉参加反対を求める要請決議」などが採択されました。また、大会の席上、第4回耕作放棄地発生防

止・解消活動表彰が行われ、京都府から、栄えある全国農業会議所会長賞に輝いた(有)やくの農業振興団(福知山市)の中島社長が表彰状を受けられました。

大会終了後、衆参の議員会館を訪れ、与野党の地元選出国會議員に対して要望活動を行いました。



第4回耕作放棄地発生防止・解消活動表彰で受賞する京都代表の中島社長

農場づくりコーディネーターが活動開始

5〜10年後の地域農業の担い手と土地利用の姿を描く、「京力農場プラン」(京都府版「人・農地プラン」)づくりがスタートしています。京都府農業会議は、この取り組みを支援する「農場づくりコーディネーター」を配置しました。

プランづくりにあたっては、将来像を描こうにも担い手がいない集落も多く、集落や市町村を越えた連携が不可欠です。このため、コーディネーターは市町村や農業委員会さらに集落リーダーと調整しながら、広域的な農場づくりをサポートします。なお、農業委員会で推進班長を決め、各地域でプランづくりにあたっていたり、コーディネーター

- 増田英雄(丹後地域担当)
- 山田進(南丹地域担当)
- 中村安秀(山城地域担当)

農の雇用事業 第3回目募集中

農業会議は、農業法人などが雇用した正社員に技術研修を行う場合に助成する「農の雇用事業」の対象を募集しています。今回の募集で対象となるのは、24年2月1日から9月14日の間に正社員として雇用された研修生で、今回の募集から45歳未満であることが条件として加えられます。詳細は京都府農業会議まで。なお、今年度は11月にも募集が予定されています。

「農の雇用事業」は、農業就業者を確保する国の主要施策として位置づけられ、平成21年度から農業会議を窓口を実施されています。これまで、146名が対象となっています。

## 会議員の異動

### 〈1号会議員〉

南丹市…再任 野中一二三

(7月6日)

井手町…新任 奥田 英夫

(7月10日)

…退任 大西 猛

(6月29日)

与謝野町…新任 西原 良一

(8月3日)

…退任 三田彌壽信

(7月31日)

### 〈6号会議員〉

全国農業協同組合連合会京都府本部

新任 宅間 敏廣 (4月25日)

退任 細見 泰敏 (4月13日)

## 常任会議だより

毎月開催される定例の常任会議では農地法等諮問案件の審議のほか、次の課題を協議しました。

### 第365回常任会議 (3月)

#### 協議

①第105回総会の運営について

### 第366回常任会議 (4月)

#### 報告

①京都農業・農地・担い手の姿

### 第367回常任会議 (5月)

#### 協議

①平成24年度「地域の農地と担い手を守り活かす運動」推進要領について

### 第368回常任会議 (6月)

#### 協議

①平成24年度「地域の農地と担い手を守り活かす運動」の推進について

②平成25年度京都府農林施策への提案について

### 第369回常任会議 (7月)

#### 協議

①第106回総会の運営と提出議案について

②平成25年度京都府農林施策への提案(骨子メモ)について

### 【農地法諮問案件の審議件数】

(3~7月)

第4条	20件	5,550㎡
第5条	77件	73,749㎡
計	97件	79,299㎡

### 【会議員現地調査の実施 11件】

- ・ 5月9日(城陽市)
- ・ 5月14日(福知山市)
- ・ 5月16日(亀岡市)

## 出版案内

- ・ 6月15日(福知山市)
- ・ 6月15日(京丹後市)
- ・ 7月5日(八幡市)
- ・ 7月11日(福知山市)
- ・ 7月12日(京丹後市)
- ・ 8月10日(与謝野町)
- ・ 8月10日(京丹後市)
- ・ 8月13日(京都市)

### 『2012年度 農業委員業務必携』

●農業委員の基本テキスト。農業委員会をめぐる情勢、農業委員会制度改革、農業委員会業務のあらましについて解説。



コード24-10 1400円

### 『農家のための新農地全書(第5版)』

●売買や貸借、転用、登記、紛争処理にいたるまで、農地問題全般をQ&A形式で全書としてとりまとめたもの。農業委員や実務担当者向き。



コード24-09 2200円

### 『農地法の解説』 新刊

●平成24年4月改正に対応。農地法の内容を逐条形式で解説。



コード24-02 3,000円

### 2012年度版 日本農業技術検定

#### 過去問題集2級 新刊

#### 3級 新刊

●2011年度に実施された日本農業技術検定の2回分の試験問題を収録。別冊となる「回答・解説編」、検定ガイド、全問題に解説つき。



コード 2級 24-01 1,000円  
3級 23-41 500円



### 『農業者年金加入推進事例集 Vol.4』

●平成22年度に農業者年金基金が実施した「農業者年金優良加入推進活動顕彰」を受けた取り組み事例。



コード23-40 700円